

■ 決算および業績・配当予想ダイジェスト

■ 2026年度第1四半期決算

増収・減益（2022年度以来4年ぶり）

- 売上高は、間接オークションに伴う自己約定を含む域外取引の増加などから増収
- 経常利益は、市場や販売環境の変化に伴う収支改善や、送配電事業における需給調整費用の減少に加え、電力先渡取引等の時価評価影響があったものの、女川原子力発電所2号機の稼働減に伴う収支悪化および燃料費調整制度のタイムラグ影響などから減益

■ 2026年度業績予想および配当予想

2026年4月公表時から **変更なし**

業績概要

2

➤売上高 7,853億円（前年同期に比べ2,499億円の増）

…売上高は、間接オークションに伴う自己約定を含む域外取引の増加などから増収。

➤経常利益 544億円（前年同期に比べ31億円の減）

…経常利益は、市場や販売環境の変化に伴う収支改善や、送配電事業における需給調整費用の減少に加え、電力先渡取引等の時価評価影響があったものの、女川原子力発電所2号機の稼働減に伴う収支悪化および燃料費調整制度のタイムラグ影響などから減益。

➤親会社株主に帰属する四半期純利益 361億円（前年同期に比べ15億円の減）

【連結決算の概要】

（単位：億円）

	2025年度1Q (A)	2026年度1Q (B)	増 減 (B) - (A)	前年同期比 (B) / (A)
売 上 高	5,353	7,853	2,499	146.7 %
経 常 利 益 ※	576 [406]	544 [377]	△31 [△28]	94.6 % [92.9 %]
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	377	361	△15	95.8 %

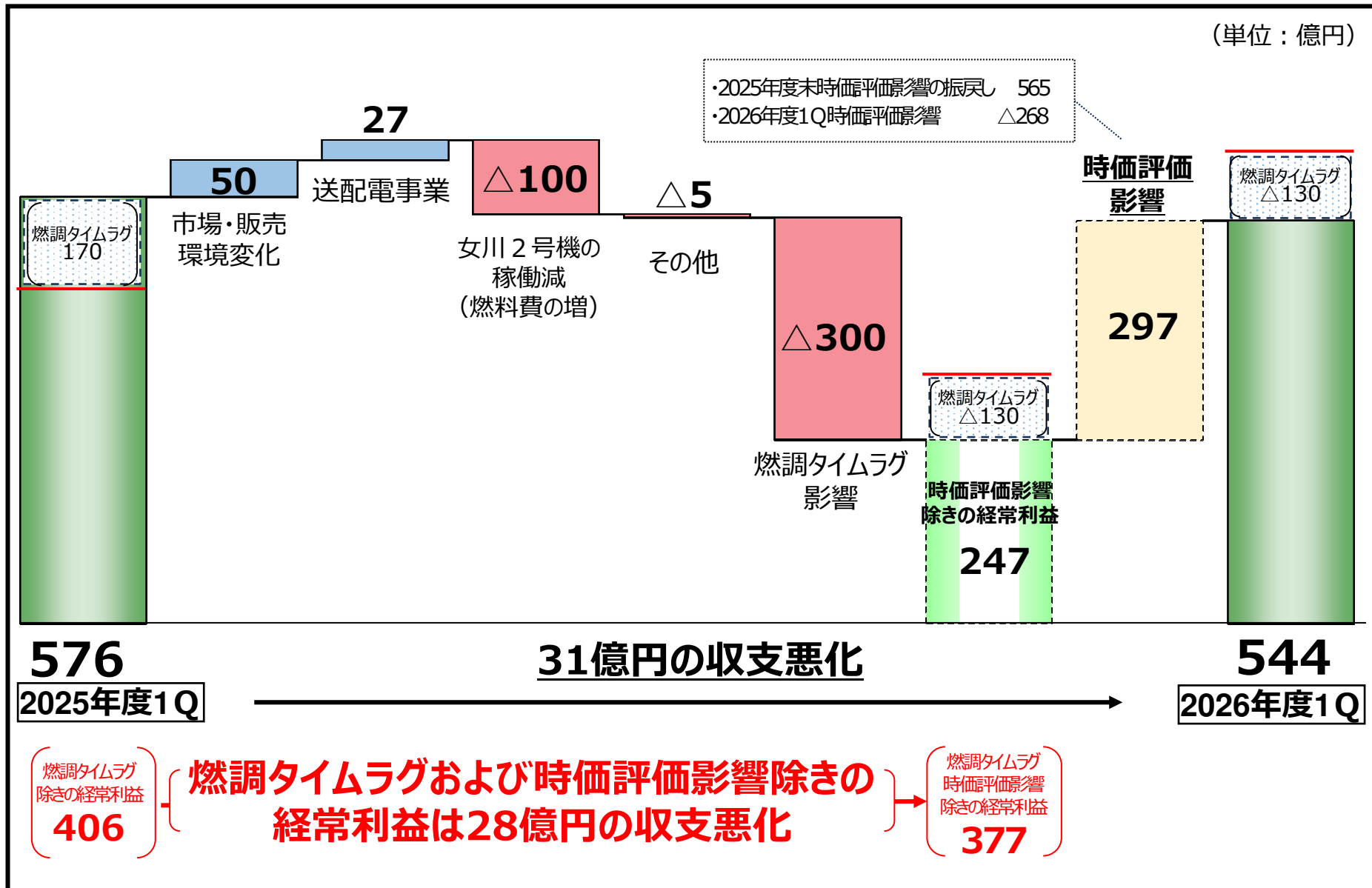
※ []内は、燃料費調整制度のタイムラグおよび時価評価影響除きの値。

連結経常利益の前年同期からの変動要因

3

変動額 △31億円 (576億円 → 544億円)

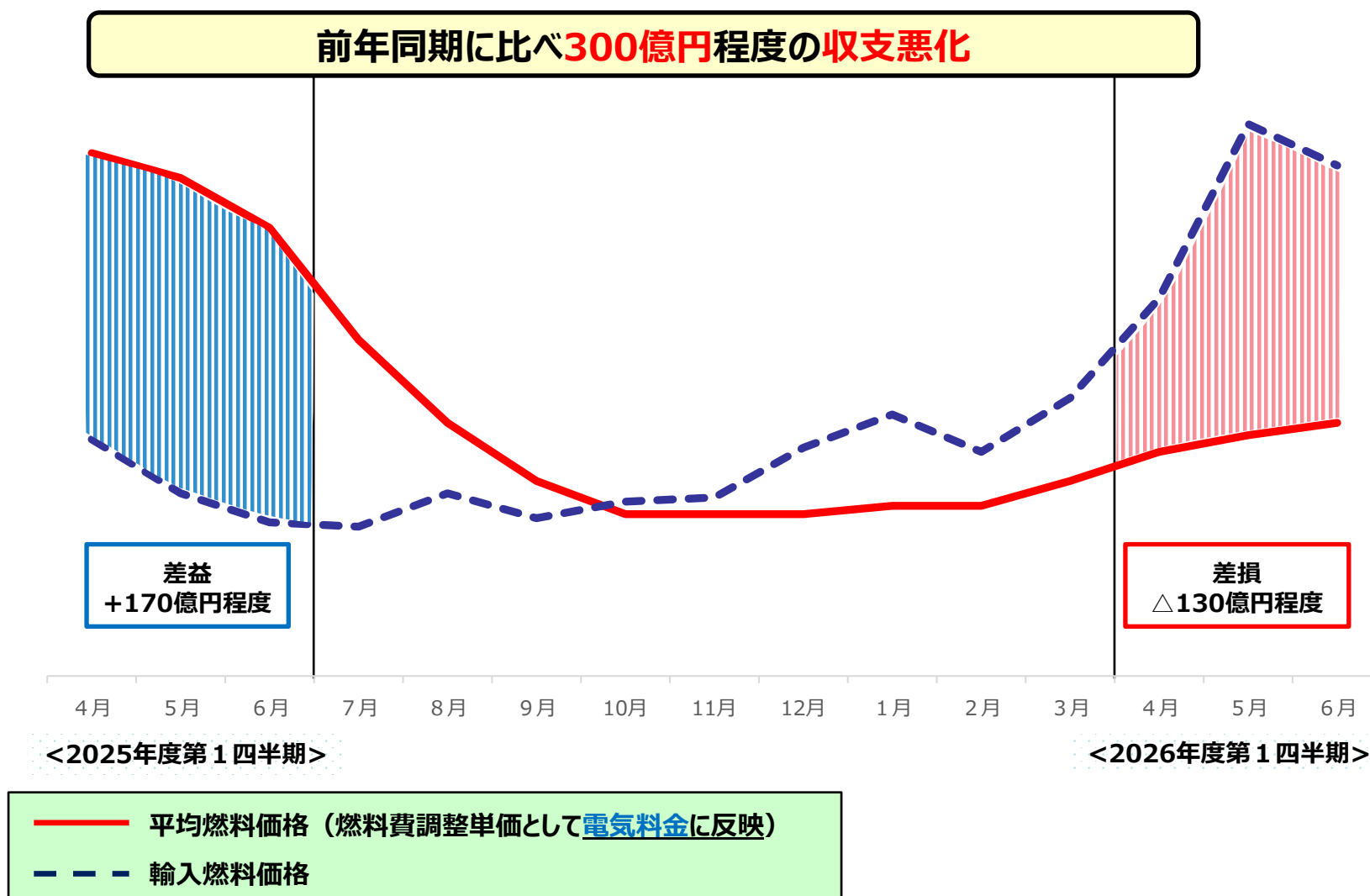
(単位：億円)



(参考) 燃料費調整制度のタイムラグ影響

4

- 前年同期の燃料費調整額のタイムラグ影響はプラス170億円（差益）だったのに対し、当期はマイナス130億円（差損）となり、**差引で300億円の収支悪化**となった。



電力販売実績・主要諸元

5

➤小売（電灯・電力） **144億kWh（前年同期に比べ12億kWhの増）**

…新規顧客獲得による増など。

➤卸売 **45億kWh（前年同期に比べ2億kWhの減）**

…卸電力市場取引の減など。

【電力販売実績】

（単位：百万 kWh）

【販売実績】※1	2025年度1Q (A)	2026年度1Q (B)	増 減 (B) - (A)	前年同期比 (B) / (A)
電 灯	4,141	3,966	△ 175	95.8 %
電 力	9,072	10,401	1,329	114.6 %
小 売 ※2 計	13,214	14,368	1,154	108.7 %
卸 売 ※3	4,630	4,478	△ 152	96.7 %
販 売 計	17,844	18,845	1,001	105.6 %

※1 東北電力個社値であり、送配電事業を除く。

※2 「小売」は、事業用電力量を含む。

※3 「卸売」は、特定融通等を含む。

【主要諸元】

	2025年度1Q (A)	2026年度1Q (B)	増 減 (B) - (A)
原油 C I F 価格（\$ / b b l）	75.1	112.7	37.6
為 替 レ ー ト（円 / \$）	145	160	15
出 水 率（ % ）	111.2	82.6	△ 28.6
原 子 力 設 備 利 用 率（ % ）	30.4	13.7	△ 16.7

セグメント情報（連結）

6

（単位：億円）

	2025年度1Q（A）		2026年度1Q（B）		増 減（B）－（A）		主な増減要因
	売上高※	経常利益	売上高※	経常利益	売上高※	経常利益	
発電・販売	4,535	797	6,653	623	2,118	△ 174	・間接オークションに伴う自己約定の増加などにより増収 ・電力先渡取引等の時価評価影響があったものの、女川原子力発電所2号機の稼働減や燃料費調整制度のタイムラグ影響などにより減益
	4,245		6,398		2,153		
送配電	1,962	△ 112	2,271	△ 85	308	27	・再生可能エネルギー電気卸供給の増加などにより増収 ・需給調整費用の減少などにより損失幅縮小
	999		1,340		340		
その他	331	6	395	17	64	10	・総合設備エンジニアリング事業において、原子力関連工事の増加などにより増収増益
	109		113		4		
小計	6,829	691	9,320	555	2,491	△ 136	
調整額	△ 1,475	△ 115	△ 1,467	△ 10	7	105	
連結値	5,353	576	7,853	544	2,499	△ 31	

※ 売上高の下段は、外部顧客に対する売上高。

財政状態（連結）

7

（単位：億円）

	2025年度末 (A)	2026年度1Q末 (B)	増 減 (B) - (A)	主 な 増 減 内 容
総資産	57,318	56,817	△ 501	
固定資産	44,732	44,705	△ 27	
流動資産	12,585	12,111	△ 473	現金及び預金 △964 売掛金 247 外
負債	45,961	45,202	△ 758	
固定負債	33,920	34,383	463	長期借入金 747 外
流動負債	12,040	10,818	△ 1,222	未払金 △515 未払費用 △358 外
純資産	11,357	11,615	257	親会社株主に帰属する四半期純利益 361 外

有利子負債残高	34,791	35,672	880	長期借入金 588、社債 300 外
---------	--------	--------	-----	--------------------

自己資本比率	19.4% (21.8%※)	20.0% (22.5%※)	0.6% (0.7%※)
--------	-------------------	-------------------	-----------------

※ 発行済のハイブリッド社債のうち、発行額の50%(1,400億円)を自己資本とした場合の自己資本比率。

2026年度 業績予想・配当予想

8

■ 2026年度 連結業績予想（2026年4月公表値から変更なし）

中東地域で戦闘が再開されるなど、地政学的リスクが再び高まっており、燃料価格等の動向が依然として不透明な状況にあるほか、東北電力ネットワークにおける「託送供給等に係る収入の見通し」の期中調整申請に伴う託送料金の改定や需給調整関連収支の動向など、業績に影響を及ぼす複数の不確定要素が存在していることから、**未定**としております。

今後、合理的な算定が可能となった時点において、速やかにお知らせいたします。

■ 2026年度 配当予想（2026年4月公表値から変更なし）

（単位：円）

	中 間	期 末	年 間
1株当たりの配当金(予想)	20	20	40

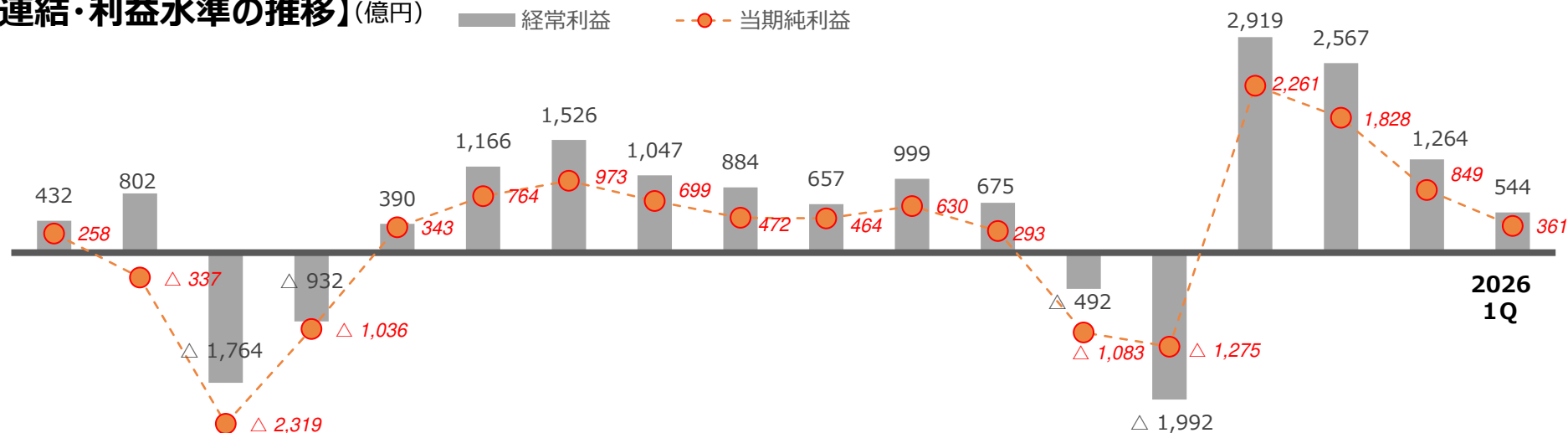
利益水準・財政状態の推移（連結）

9

【連結・利益水準の推移】(億円)

■ 経常利益

-○- 当期純利益



【連結・財政状態の推移】(億円, %)

■ 有利子負債残高

■ 自己資本

-◆- 自己資本比率

